別記様式－１

**ＩＣＴ活用工事計画書（土工）**

（工事名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　会社名：

当該工事の土工において、ＩＣＴ施工技術を全ての施工プロセスの段階で活用する場合、「□全て活用する」のチェック欄に「■」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チェック欄 | 施工プロセスの段階 | | 適用技術・機種 |
| □全て活用する | ①３次元起工測量 | | ・空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  ・地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ・ＴＳ等光波方式を用いた起工測量  ・ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ・ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  ・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ・音響測深機器を用いた起工測量  ・その他の３次元計測技術を用いた起工測量  ※採用する具体な技術は受注後の協議により決定する。  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。  ※発注者が３次元測量成果を提供する場合も活用に含む。 |
| ②３次元設計データの作成 | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成  ※発注者が３次元設計データを提供する場合も活用に含む。 |
| ③ＩＣＴ建設機械  による施工 | 【作業工種】  ・掘削工  ・盛土工  ・路体盛土工  ・路床盛土工  ・法面整形工 | ３次元ＭＣ又は３次元ＭＧ　建設機械  ※活用作業工種・施工範囲については受注後の協議により　決定する。  ※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかでＩＣＴ建設機械を活用すれば良い。 |
| ④３次元出来形管理等の施工管理 | | ・空中写真測量（無地航空機）を用いた出来形管理  ・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ・ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  ・ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  ・ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理  ・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ・施工履歴データを用いた出来形管理  ・その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  ※採用する具体な技術は受注後の協議により決定する。  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。  ※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。 |
| ・ＴＳ・ＧＮＳＳによる締固め回数管理  ※盛土の締固め作業が工事内容に含まれない場合、本技術は対象外とする  ※現場条件等から、TS・GNSSによる締固め回数管理技術の実施が適さないと判断される場合は、従来手法（砂置換法、RI等）で管理しても良い。 |
| ⑤３次元データの納品 | |  |

注1)ICT活用工事及びICT活用施工の詳細については、特記仕様書によるものとする。

注2)「□全て活用する」のチェック欄に「■」と記載された場合のみ加点対象とする。

注3)「ICTの活用」において加点評価された場合、「技術提案」との重複評価はしない。ただし、本表掲載のICTを応用（別の技術を組み合わせて効果を高める、

又は別の効果を発現する等を含む。）した技術提案は、その応用部分（付加的な内容）については「技術提案」の評価対象とする。

注4)特記仕様書により指定した技術については、評価項目・技術提案ともに加点・評価はしない。

注5)MCとは、マシンコントロール機能、MGとはマシンガイダンス機能をいう。